★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外	追加型投信/海外/株式/特殊型(ブル・ベア型)						
信託期間	無期限(設定日:2021年2月9日)							
運用方針	日々の基準価額の値動きが NASDAQ Q-50指数 (米ドルベース)の値動きの 2 倍程度となること をめざして運用を行ないます。							
主 要 投資対象	ダイワ・マネー デ ポ ジッ ト・	証券)を含みまれ、米国の債券へ、わが国の債券ト、ダイワ・マチーフを券チ、米国の株価指	(円建) 場投資信託証 場投資信託証 影投資証券) 適品取引所上場 頁登録株式(上 5頭 D R (預託 ます。) キ ネーデポジッ					
	マザーファンド	*						
組入制限	ベビーフ	ド組入上限比率 アンドの	無制限					
	株 式 実 質 組 入 上 限 比 率 マザーファンドの株式組入上限比率 10%以下							
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、信 託財産の成長に資することを目的に、配当等収益 の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を 決定します。ただし、配当等収益が少額の場合に は、分配を行なわないことがあります。							

iFreeレバレッジ NASDAQ次世代50

運用報告書(全体版) 第1期

(決算日 2022年 1 月12日) (作成対象期間 2021年 2 月 9 日~2022年 1 月12日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申 し上げます。

当ファンドは、日々の基準価額の値動きが NASDAQ Q-50指数 (米ドルベース) の値動きの 2 倍程度となることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、 お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 お問い合わせ先 (コールセンター) TEL 0120-106212 (営業日の9:00~17:00) https://www.daiwa-am.co.jp/

設定以来の運用実績

決算期	基	準 価	額	NASDA 指数 (米ド	Q Q-50 ルベース)		株式先物	公社債	投資信託	純資産総額
//\ }+ /\\]	(分配落)	税 分配金	期 中騰落率	(参考指数)	期 中騰落率	組入比率	比率	組入比率	組入比率	総額
	円	円	%		%	%	%	%	%	百万円
1期末(2022年1月12日)	7, 677	0	△ 23. 2	9, 203	△ 8.0	_	_	100. 4		735

- (注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) NASDAQ Q-50指数 (米ドルベース) は、NASDAQ Q-50指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として 大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注6) 株式先物比率は買建比率 売建比率です。
- (注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券) および債券先物を除きます。

当ファンドは、Nasdaq, Inc. またはその関連会社(以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「株式会社」と総称します。)に よって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、 または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファン ドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、 NASDAQ Q-50 Index の一般的な株式市況への追随可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行 ないません。株式会社と大和アセットマネジメント株式会社(「ライセンシー」)との関係は、Nasdag® および NASDAQ Q-50 Index の登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、大和アセットマネジメント株式 会社または当ファンドとは無関係に、ナスダックが決定、構築および算出を行なう NASDAQ Q-50 Index の使用を許諾すること に限られます。ナスダックは、NASDAQ Q-50 Index の決定、構築および計算に関し、大和アセットマネジメント株式会社また は当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその 数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をして いません。株式会社は、NASDAQ Q-50 Index とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式 会社は、NASDAQ Q-50 Index またはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの 保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行ないません。 株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行なわず、かつ NASDAQ Q-50 Index® またはそれに含まれるデータの 利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認しま す。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生 的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。



基準価額等の推移について



- *分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- *分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります(分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時:10,000円

期 末: 7,677円 (分配金0円) 騰落率:△23.2% (分配金込み)

■基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きが NASDAQ Q-50指数(米ドルベース)の値動きの 2 倍程度となることをめざして運用を行った結果、米国株式市況は上昇したものの、NASDAQ Q-50指数が下落したことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

iFreeレバレッジ NASDAQ次世代50

年月日	基準価額			ASDAQ Q-50指数 (米ドルベース)			株式先物比率	公 社 債組入比率	投資信託 証券
		騰落率	(参考指数)	騰	落 率	組入比率	山 卒	祖八儿卒	組入比率
	円	%			%	%	%	%	%
(期首) 2021年2月9日	10,000	_	10,000		_	_	_	_	_
2月末	8, 938	△ 10.6	9, 553		4.5	_	_	103. 3	_
3月末	7, 580	△ 24.2	8, 897		11.0	_	_	100.6	_
4月末	8, 710	△ 12.9	9, 575		4. 2	_	_	99. 7	_
5月末	8, 266	△ 17.3	9, 360		6. 4	_	_	99. 2	_
6月末	9, 263	△ 7.4	9, 929		0.7	_	_	94. 5	_
7月末	8, 768	△ 12.3	9, 684		3. 2	_	_	99. 7	_
8月末	9, 152	△ 8.5	9, 909		0.9	_	_	99. 6	_
9月末	8, 139	△ 18.6	9, 368		6. 3	_	_	99.6	_
10月末	9, 164	△ 8.4	9, 958		0. 4	_	_	99.8	_
11月末	9, 588	△ 4.1	10, 225		2. 3			100.0	
12月末	8, 825	△ 11.8	9, 828		1.7	_	_	99.6	_
(期末) 2022年1月12日	7, 677	△ 23.2	9, 203		8. 0	_	_	100. 4	_

⁽注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

 $(2021, 2.9 \sim 2022, 1.12)$

■米国株式市況

米国の主要株価指数は上昇しましたが、NASDAQ Q-50指数(米ドルベース)は下落しました。 米国株式市況は、当作成期首より、バイデン新政権の大型経済対策への期待が高まったことや、 新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったことなどが好感され、主要株価指数は上昇しました が、米国金利が上昇したことなどにより、それまで将来の成長性を見越して買われてきた NASDAQ Q-50指数は下落しました。その後は、堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、主要株価指数は断続的に史上最高値を更新し、NASDAQ Q-50指数も上昇に転じました。当 作成期末にかけては、CPI(消費者物価指数)の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから NASDAQ Q-50指数は 再び下落に転じ、当作成期を通して見ると下落となりました。

ポートフォリオについて

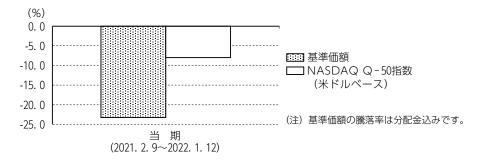
 $(2021, 2.9 \sim 2022, 1.12)$

■当ファンド

連動債券(米国の株式市場の値動きを享受する債券(円建))に投資を行い、日々の基準価額の 値動きがNASDAQ Q-50指数(米ドルベース)の値動きの2倍程度となるよう調整しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。 以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

■分配原資の内訳(1万口当り)

			当期					
	項目		2021年2月9日					
			~2022年1月12日					
当期分配	己金(税込み)	(円)	-					
	对基準価額比率	(%)	-					
	当期の収益	(円)	_					
	当期の収益以外	(円)	_					
翌期繰越分	配対象額	(円)	_					

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として連動債券に投資し、日々の基準価額の値動きが NASDAQ Q-50指数 (米ドルベース) の値動きの 2 倍程度となることをめざした運用を行ってまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

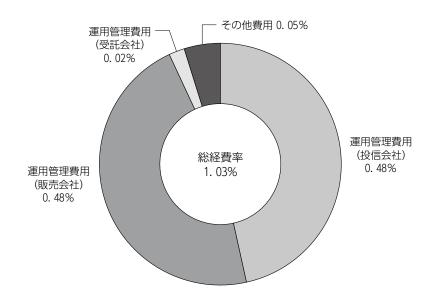
項目	当 (2021. 2. 9~	期 ·2022. 1. 12)	項目の概要
–	金額	比 率	
信託報酬	79円	0. 907%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,707円です 。
(投信会社)	(39)	(0. 443)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(39)	(0. 443)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0. 020)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	_	_	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益 権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	_		有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	4	0. 046	その他費用=当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権□数
(保管費用)	(3)	(0. 037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0. 007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	83	0. 952	

- (注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便 法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

- 参考情報 -

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.03%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。

iFreeレバレッジ NASDAQ次世代50

■売買および取引の状況

公 社 債

(2021年2月9日から2022年1月12日まで)

				買付額	売 付 額
国内	社	債	券	千円 1, 384, 801	千円 534, 335 (一)

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
- (注2)()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券) は含まれておりません。
- (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2021年2月9日から2022年1月12日まで)

出	期	
買	売	
銘 柄	金額 銘 柄	金 額
	刊	千円
Harp Issuer PLC 2024/2/16 (ユーロ円債)	1,384,801 Harp Issuer PLC 2024/2/16 (ユーロ円債)	534, 335

⁽注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社(自社)による当ファンドの設定・解約および 保有状況

12	1713	D 117														
設	定	時	当代	乍成其	明中	当代	乍成其	明中	当代	F成其	床	Ħπ	<u>جا</u>	Φ	理	由
保	有	額	設	定	額	解	約	額	保	有	額	取	וכ	の	垤	ш
	百	万円		百	万円		百	万円		百	万円					
		100			_			100			_				にま の 処	

⁽注1) 金額は元本ベース。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別、新株予約権付社債券(転換社債券)を除く)

作 成 期		2	当	ļ	期	末			
	# T A ##	=== /==	φæ	// 1 Lists	うちBB格		残存期間別組入比率		
区 分 	額面金額	評 価	額	組入比率	以下組入 比 率	5年以上	2年以上	2年未満	
	刊		千円	%	%	%	%	%	
普通社債券	953, 000	73	8, 384	100. 4	_	_	100. 4	_	

⁽注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

⁽注2) 単位未満は切捨て。

⁽注2)単位未満は切捨て。

⁽注2)額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

⁽注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内 (邦貨建) 公社債 (銘柄別、新株予約権付社債券 (転換社債券) を除く)

	当	期	末		
区分	銘 柄	年 利 率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
普通社債券	Harp Issuer PLC	_	953, 000	738, 384	2024/02/16

⁽注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年1月12日現在

項		当 期 末					
		評	価	額	比	率	
				千円		%	
公社債			738	3, 384		98. 6	
コール・ローン等	10, 193				1.4		
投資信託財産総額			748	5, 577		100.0	

⁽注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年1月12日現在

項目	当 期 末
(A)資産	748, 577, 432円
コール・ローン等	10, 193, 032
公社債(評価額)	738, 384, 400
(B)負債	12, 991, 135
未払金	3, 874, 000
未払解約金	5, 477, 988
未払信託報酬	3, 608, 385
その他未払費用	30, 762
│(C)純資産総額(A − B)	735, 586, 297
元本	958, 135, 331
次期繰越損益金	△ 222, 549, 034
│(D)受益権総□数	958, 135, 331□
1万口当り基準価額(C/D)	7, 677円

^{*}期首における元本額は100,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は2,403,942,249円、同解約元本額は1,545,806,918円です。

■損益の状況

当期 自2021年2月9日 至2022年1月12日

	D2021+27370	
項目	当	期
(A)配当等収益		9, 428円
受取利息		13, 355
支払利息	\triangle	22, 783
(B)有価証券売買損益	\triangle	101, 652, 933
売買益		52, 651, 090
売買損	\triangle	154, 304, 023
(C)信託報酬等	\triangle	7, 981, 597
(D)当期損益金 (A+B+C)	\triangle	109, 643, 958
(E)追加信託差損益金	\triangle	112, 905, 076
(配当等相当額)	(△	29, 308)
(売買損益相当額)	(△	112, 875, 768)
│(F)合計 (D+E)	\triangle	222, 549, 034
次期繰越損益金(F)	\triangle	222, 549, 034
追加信託差損益金	\triangle	112, 905, 076
(配当等相当額)	(△	29, 308)
(売買損益相当額)	(△	112, 875, 768)
繰越損益金	\triangle	109, 643, 958

⁽注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりま

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	0
(h) 受益権総□数	958, 135, 331□

^{*} 当期末の計算口数当りの純資産額は7,677円です。

^{*}当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は222,549,034円です。

⁽注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

⁽注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照 ください。

ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

運用報告書 第1期(決算日 2021年12月9日)

(作成対象期間 2021年2月8日~2021年12月9日)

ダイワ・マネーデポジット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

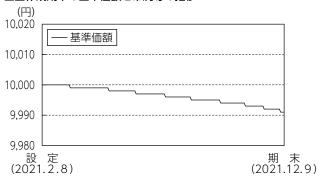
運	用	方	針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主	要 投	資 対	象	円建ての債券
株 :	式 組	入制	限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



	基準	価 額	公 社 債
年 月 日		騰落率	公 社 債組 入比率
	円	%	%
(期首)2021年2月8日	10,000	_	-
2 月末	10,000	0.0	_
3 月末	9,999	△0.0	-
4 月末	9,998	△0.0	-
5 月末	9,998	△0.0	_
6 月末	9,997	△0.0	_
7月末	9,996	△0.0	_
8 月末	9,995	△0.1	_
9 月末	9,994	△0.1	_
10月末	9,993	△0.1	_
11月末	9,992	△0.1	_
(期末)2021年12月9日	9,991	△0.1	_

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券) および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時:10.000円 期末:9.991円 騰落率:△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、 基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和 を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券 (3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび 参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	_
その他費用	0
(その他)	(0)
合 計	0

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照 ください。
- (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項	В	当		期		末
以	Ħ	評	価	額	比	率
				干田		%
コール・ローン等、 ²	その他		1	,094		100.0
投資信託財産総額			1	,094		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項		当	期	末
(A) 資産			1,09	4,545円
コール・ローン等			1,09	4,545
(B) 負債				_
(C) 純資産総額(A – B)			1,09	4,545
元本			1,09	5,501
次期繰越損益金			\triangle	956
(D) 受益権総口数			1,09	5,501□
1 万口当り基準価額(C / C))			9,991円

- *期首における元本額は995,000円、当作成期間中における追加設定元本額は
- 100,501円、同解約元本額は0円です。 *当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額: マネーデポジット資金拠出用ファンド(適格機関投資家専用) 1,094,500円 ダイワ/バリュー・パートナーズ チャイナ・カーボン・ニュートラル・フォーカス 1,001円
- *当期末の計算口数当りの純資産額は9,991円です。
- *当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は956円です。

■損益の状況

当期 自2021年2月8日 至2021年12月9日

項	当	期
(A) 配当等収益		△954円
受取利息		6
支払利息		△960
(B) その他費用		△ 1
(C) 当期損益金(A+B)		△955
(D) 追加信託差損益金		△ 1
(E) 合計(C+D)		△956
次期繰越損益金(E)		△956

(注) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場 合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。